

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2014-166291 (P2014-166291A)

【公開日】平成26年9月11日 (2014.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-049

【出願番号】特願2013-40187 (P2013-40187)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日 (2016.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作に応じて遊技球を発射する発射手段と、
 該発射手段によって発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、
該遊技領域の右側部を流下する遊技球が通過可能な通過口を有する通過口形成部と、
前記通過口への遊技球の通過に応じて遊技球を受け入れ可能な開放状態に変化し得る入
球口を有する入球口形成部と、
前記入球口に入球しなかった遊技球を前記遊技領域の下方中央に向けて流下させる通路
部と、
前記通過口形成部と前記入球口形成部と前記通路部とがユニット化されることにより構
成される通路構成部材と、
前記入球口への遊技球の入球に基づいて抽選を行う抽選手段と、
 該抽選手段による抽選の結果に基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に
 制御する利益付与制御手段と、を備え、
前記通路構成部材は、前記通過口を通過した遊技球のうち、前記入球口に入球しなかつ
た遊技球を前記遊技領域の下方中央に向けて流下させる非入球用通路部をさらに有する
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、始動口への入賞に基づいて当りとするか否かの当落判定を行って当該判定結果に
 基づいて表示装置にて図柄を変動表示し、大当りと判定した場合には大当り図柄を停止表
 示した後に大当り遊技状態を発生させる遊技機がある（例えば特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記した遊技機では、始動口への入賞に基づいて賞球の獲得が可能であるものの、賞球を獲得したか否かに拘らず遊技者を落胆させて遊技興趣を低下させるおそれがある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記の実状に鑑み、遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために請求項1に係る発明においては、遊技者の操作に応じて遊技球を発射する発射手段と、

該発射手段によって発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域の右側部を流下する遊技球が通過可能な通過口を有する通過口形成部と、

前記通過口への遊技球の通過に応じて遊技球を受け入れ可能な開放状態に変化し得る入球口を有する入球口形成部と、

前記入球口に入球しなかった遊技球を前記遊技領域の下方中央に向けて流下させる通路部と、

前記通過口形成部と前記入球口形成部と前記通路部とがユニット化されることにより構成される通路構成部材と、

前記入球口への遊技球の入球に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段による抽選の結果に基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与制御手段と、を備え、

前記通路構成部材は、前記通過口を通過した遊技球のうち、前記入球口に入球しなかった遊技球を前記遊技領域の下方中央に向けて流下させる非入球用通路部をさらに有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このように、本発明によれば、遊技興趣の低下を抑止可能である。